

(様式 1-3)

田野畑村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	52	事業名	農林水産物販売施設整備事業	事業番号	C-2-3
交付団体		田野畑村	事業実施主体 (直接/間接)	田野畑村 (直接)	
総交付対象事業費		11,000 (千円)	全体事業費	206,160 (千円)	
事業概要					
<p>津波によって、明戸地区の販売施設「明戸土曜市」が流失した。本施設は、沿岸部の農林漁家の生産物の販売のほか、漁協女性部・地区女性部の開発品や地元加工業者の特産品販売が行われ、村内外の交流の場としても活用されていた。</p> <p>被災者の多くが高台移転することから、村中央部に販売施設を建設し、一次産業の復興と加工品開発の推進、交流の場として活用するものである。</p> <p>また、内陸部の国道 45 号の沿線にある既存の道の駅たのはた (道路情報施設、休憩施設、地域振興施設 (産直・レストラン等)) が、三陸沿岸道路にて移転を余儀なくされたことから、道の駅たのはたの移転に併せ、村中央部の菅窪地区に集約させ、村の農林水産物のすべてが揃う販売施設の整備を計画する。</p> <p>なお、当該事業は、田野畑村災害復興計画・復興基本計画 P6 の 2 復興に向けての基本方針 (3) 地域振興、P27 の (8) 水産物付加価値化の促進 P33 の IV 商工業の再建の復興に向けての方針 (3) に関連して行うものである。</p> <p>また、平成 30 年度における持続可能なむらづくりを住民委員会により策定、その中では『小さな拠点』として重要な計画と位置付けられている。</p> <p><b>【事業間流用による経費の変更】 (令和元年 10 月 7 日、第 25 回提出)</b></p> <p>事業の執行に必要なため、C-1-1 平井賀漁港 (羅賀地区) 環境整備事業 (羅賀地区) から 14,724 千円 (国費: 11,043 千円)、C-2-1 机浜番屋群再生事業 (机地区) から 5,380 千円 (国費: 4,035 千円)、◆C-2-1-1 机浜番屋群等再生事業 (机地区) から 10,653 千円 (国費: 8,522 千円)、◆C-2-1-2 ジオツーリズム推進事業 (沿岸部) から 300 千円 (国費: 240 千円)、C-2-2 野外活動交流促進施設整備事業から 122 千円 (国費: 91 千円)、◆C-2-2-1 震災遺構保存整備事業 (明戸地区) から 19,543 千円 (国費: 15,634 千円)、◆C-5-1-2 羅賀地区コミュニティセンター整備事業 (羅賀地区) から 14,620 千円 (国費: 11,696 千円)、◆C-5-2-2 島越地区コミュニティセンター整備事業 (島越地区) から 1,325 千円 (国費: 1,060 千円)、◆C-5-2-3 防災まちづくり拠点施設整備事業 (菅窪地区) から事業費 24,414 千円 (国費: 19,531 千円)、C-6-3 平井賀漁港 (平井賀地区) 施設機能強化事業 (平井賀地区) から 1,084 千円 (国費: 813 千円)、C-7-1 サケふ化場整備事業 (明戸地区) から事業費 7,968 千円 (国費: 5,976 千円)、◆C-7-1-1 サケ稚魚運搬車整備事業 (明戸地区) 349 千円 (国費: 279 千円)、◆C-7-1-2 サケ遡上等阻害対策事業 (明戸地区) から 730 千円 (国費: 584 千円)、C-7-2 水産荷捌き施設整備事業 (島越地区) から事業費 36,532 千円 (国費: 27,399 千円)、C-7-3 漁業者用公衆トイレ整備事業 (島越地区) から 48 千円 (国費: 36 千円)、C-7-5 島越地区水産業共同利用施設復興整備事業 (島越地区) から 4,104 千円 (国費: 3,078 千円) を流用。</p> <p>これにより、流用後交付対象事業費は 11,000 千円 (国費: 8,250 千円) から 157,693 千円 (国費: 118,267 千円) に増額。</p> <p>また、第 25 回復興交付金では、事業費として 48,467 千円を申請する。</p>					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 25 年度>					
農林水産物販売施設					
実施設計調査 一式					
<平成 26 年度>					

<p>農林水産物販売施設建設 1棟</p> <p>&lt;令和元年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計 一式（交付決定分）C=11,000 千円</li> </ul> <p>&lt;令和元年度～令和2年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事監理費 一式 C=7,454 千円</li> <li>・道の駅たのはた（販売施設整備分）建設 1棟 C=187,706 千円</li> </ul>
<p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>販売施設を復旧し、農林水産物や加工品の販売や交流を通じ、以前の活気を取り戻し、被災者の落胆や不安を「将来の夢」に変化させたい。</p> <p>津波によって、この販売施設が流出したほか、防潮堤が半壊し防潮林であった美しい松林も全て流され、更地状態となった。加えて本地区主体に生産されている原木椎茸が放射能の風評被害により販売出来ない状態が続いている。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>
<p>関連する災害復旧事業の概要</p> <p>なし</p>

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

<p>関連する基幹事業</p>	
<p>事業番号</p>	
<p>事業名</p>	
<p>交付団体</p>	
<p>基幹事業との関連性</p>	
<p></p>	